

### プリント基板用端子台 LSF-SMT シリーズの電線接続時のご注意

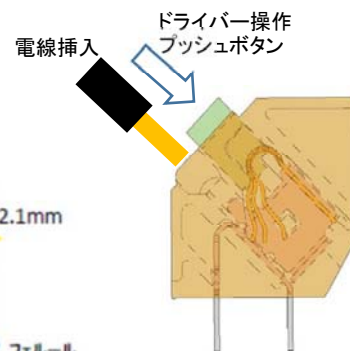
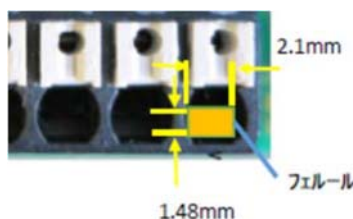
#### [1] 適用製品: LSF-SMTシリーズ

3.50mmピッチ:	LSF-SMT3.50/90, LSF-SMT3.50/135, LSF-SMT3.50/180
3.81mmピッチ:	LSF-SMT3.81/90, LSF-SMT3.81/135, LSF-SMT3.81/180
5.00mmピッチ:	LSF-SMT5.00/90, LSF-SMT5.00/135, LSF-SMT5.00/180
5.08mmピッチ:	LSF-SMT5.08/90, LSF-SMT5.08/135, LSF-SMT5.08/180
7.50mmピッチ:	LSF-SMT7.50/90, LSF-SMT7.50/135, LSF-SMT7.50/180
7.62mmピッチ:	LSF-SMT7.62/90, LSF-SMT7.62/135, LSF-SMT7.62/180



#### [2] 基本情報:

電線接続可能範囲:	0.20mm <sup>2</sup> ~ 1.50mm <sup>2</sup>
被服剥き長さ:	8mm
フェルールサイズ:	H0.25 ~ H1.5 (プラスチックカラーなし) H0.25 ~ H0.75 (プラスチックカラー付き)
推奨圧着工具:	PZ6/5 (9011460000)
推奨ドライバー:	SDS 0.4X2.5X75 (9009030000)
接続可能寸法:	横2.1mm x 縦1.48mm
ボタン押込距離:	1.7mm(最大)
推奨ボタン押込力:	20N (最大:40N)



※ 推奨圧着工具以外の圧着工具をご使用の場合は、圧着寸法にご注意ください。

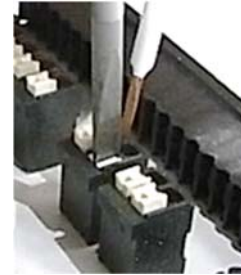
#### [3] 電線サイズと推奨フェルール:

電線サイズ [mm <sup>2</sup> ]	カラー付フェルール		カラーなしフェルール	
	品番	型式	品番	型式
0.20	-	-		
0.25	9025760000	H0,25/12 HBL		
0.34	9025770000	H0,34/12 TK		
0.50	0690700000	H0,5/14 OR	9004050000	H0,5/10
0.75	0462900000	H0,75/14 W	0542500000	H0,75/10
1.00			0282800000	H1,0/10
1.50			0186500000	H1,5/10

推奨圧着工具: PZ6/5 (9011460000)

### [4] 電線接続手順とご注意:

- 電線は、端子台に対して、まっすぐ挿入して下さい。
- 1) 単線もしくはフェールールなどの先端処理された電線の接続
    - ・ 工具を使用せずに直接、挿入して下さい。
    - ・ 接続後、軽く引っ張り、しっかりと接続されている事を確認して下さい。
  - 2) より線など、先端処理されていない電線の接続
    - ・ ボタンを押してクランプを開きながら電線を奥まで挿入した後、ボタンを離すと電線が保持されます。
    - ・ 接続後、軽く引っ張り、しっかりと接続されている事を確認して下さい。



### 《フェールール圧着形状と接続時のご注意》



- ・ 使用する電線に合致したHスリーブを選択してください
- ・ 使用する電線の先端は可能な限り真直ぐに切断してください
- ・ フェールール導体部の先端まで電線が挿入されていることを確認してください(+1mm程度)
- ・ 圧着方法は、使用する工具の取扱説明書に則って操作をしてください

### 《適切でない圧着例》

- ① ② 圧着したフェールールに亀裂がある
- ② 金属がよってしまい、角が生成されている

### 《電線挿入時のご注意》



### 《圧着寸法》 圧着寸法:横2.1mm x 縦1.48mm

LSF-SMTシリーズへの接続可能最大サイズは横2.1mmx縦1.48mmとなっております。フェールールの仕上がりサイズは、これ以下になるようにお願いします。[推奨圧着工具:PZ6/5 (9011460000)]

※推奨工具以外をご使用の場合、適切な形状に圧着が出来ず、端子台内部のクランプやスプリングを变形させてしまい、正常に機能しなくなる恐れがあります。



### 《電線挿入時のご注意》

電線接続時は、フェールールの長手方向が横方向になるように端子台へ接続して下さい。(写真OK参照)

“写真NG”のように、フェールールの長手方向が縦方向になるように電線を挿入するとクランプやスプリングを破損し、機能しなくなる事がありますので、ご注意ください。

### [5] 電線抜取時の手順とご注意:

- 電線を抜くときは、プッシュボタンを押しながら、矢印方向にまっすぐに電線を引き抜いてください。  
※プッシュボタンは20N程度で操作してください。



### 《ご注意》

- ・ プッシュボタンを押さずに電線を引き抜いたり、斜めに引っ張ったりした場合、クランプやスプリングを破損し、機能しなくなる事があります。
- ・ プッシュボタンを強く押しすぎるとクランプやスプリングを破損し、機能しなくなる事があります。  
そのため、プッシュボタンの最大押込耐力は40Nですが、推奨押込力は20Nとなっており、20N程度での操作をお願いします。

